

# 茶臼原通信

令和3年度  
12月号  
発行：植野

## 2021年、最後の月になりました!

早いもので、令和3年(2021年)も最後の月となりました。ほんの少し前までは、運動会の練習に汗を流し、真っ黒に日焼けをしながら運動場を走り回っていた姿が思い出されます。

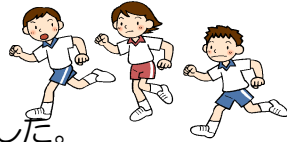
2学期は、1年で一番長い学期です。授業日数は全学年共に83日で、本当に45名の子ども達は頑張りました。

この2学期にはいろいろな行事がありました。なんと言っても「ふれあい運動会」です。コロナ禍の影響で午前中開催となりましたが、内容の工夫や子ども達の頑張り、そして保護者の方々のご協力をいただき無事開催することができました。また、6年生の修学旅行も「鹿児島県」に行くことができました。運動会や修学旅行だけではありません。芋掘り、秋の遠足、米良美一さんの読み聞かせコンサート、味覚教室、持久走大会、県立芸術劇場への観劇教室など、本当にたくさんの行事を経験することができました。

行事は「子ども達に経験を積ませ、感性を育てる」と昔はよく言われたものです。現在は、教育課程編成の際、授業時数確保のために行事の精選を行うことが多くなってきましたが、これだけの行事を経験できる子ども達は本当に羨ましいと思います。そして、このような行事をサポートしてくださいました関係者の方々、保護者の方々、地域の方々には心より感謝を申し上げます。

2学期もあと少しで終業式を迎えますが、まだまだいろいろな活動があります。子ども達はその活動を通して、より成長できるように我々職員も頑張っていきます!!

## 持久走大会、頑張りました



11月25日(金)は、持久走大会を行いました。校内に持久走コースを設け、持久走の全体練習の時は、このコースを全員で走り込んできました。昼休みに自主的に走る子ども達もいたぐらい、持久走大会にかける意気込みには熱いものがありました。

低学年は800m、中学年は1000m、高学年は1200mを走ります。

トップバッターは、低学年の部です。距離は800mですが、1年生、2年生全員が全力で走りきりました。走りきった後の笑顔には、自信がみなぎっているように感じました。



次は中学年の部です。距離は1000mとちょっと長めですが、この日のために、しっかりと走り込んできました。



さすが、中学年もなると、ペース配分や走るコース取りなど、意識しながら走っていました。見応えのあるレースでした。

そして、ラストを飾るのは高学年の部です。距離も1200mと体力と同時に苦しさに打ち勝つ気力も大事になってきます。



高学年も、誰一人諦めずに最後まで走りきりました。高学年の走りは、迫力がありました。低学年・中学年の子ども達も憧れのまなざしで

応援していました。45名全員完走です! 応援して下さった保護者の皆様、天心館の先生方、本当にありがとうございました。

茶小の子ども達、最高です!!

## 11月の研究授業



11月も研究授業(相互参観)を行いました。今回は4年生です。教科は「算数科」、単元は「図を使って考えよう」です。内容は、文章問題を読み取り、図を活用しながらかけたり、たしたりしているものを順に戻して考えるというものです。当然、ICTと教科指導の融合で取り組んでいるため、タブレットを活用していきました。

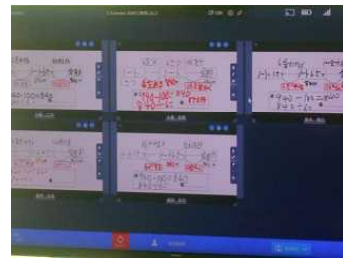


教師用タブレットから児童用タブレットに問題を送信し、「分かっていること、求めるものは何か。」を全員で共通理解していきます。

タブレット活用も大切なのですが、基本はやはり板書やノートの記入です。



タブレットは、あくまでも思考のツールとして活用していきます。そのために、大型テレビに全員の考えを投影し、みんながどのように考えているのかを話し合い、高め合っていきます。



子ども達も日々学習しているように、我々教師も日々授業力向上のために頑張っていかなければと取り組んでいます!

## 食育授業に取り組みました!

JA西都の主催による「食育教室」を本年度も実施していただきました。本年度の食材は「マンゴー」です。西都産マンゴーのジュレを活用して、「マンゴーカレー」と「マンゴーラッシー」を作ります。指導して下さったのは、野菜ソムリエの長友さん、鬼塚さん、田原さんです。



水を使わずにマンゴージュレで煮込んでいきます。スパイシーな中にも自然の甘さを感じる美味しいカレーになりました。食育の授業を通して、食材を生産している方々や食材に対する感謝の気持ちを育てることに繋がっていきます。